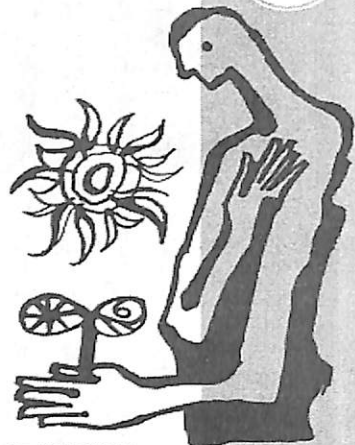


治安維持法と現代

2022
春季号
No.43

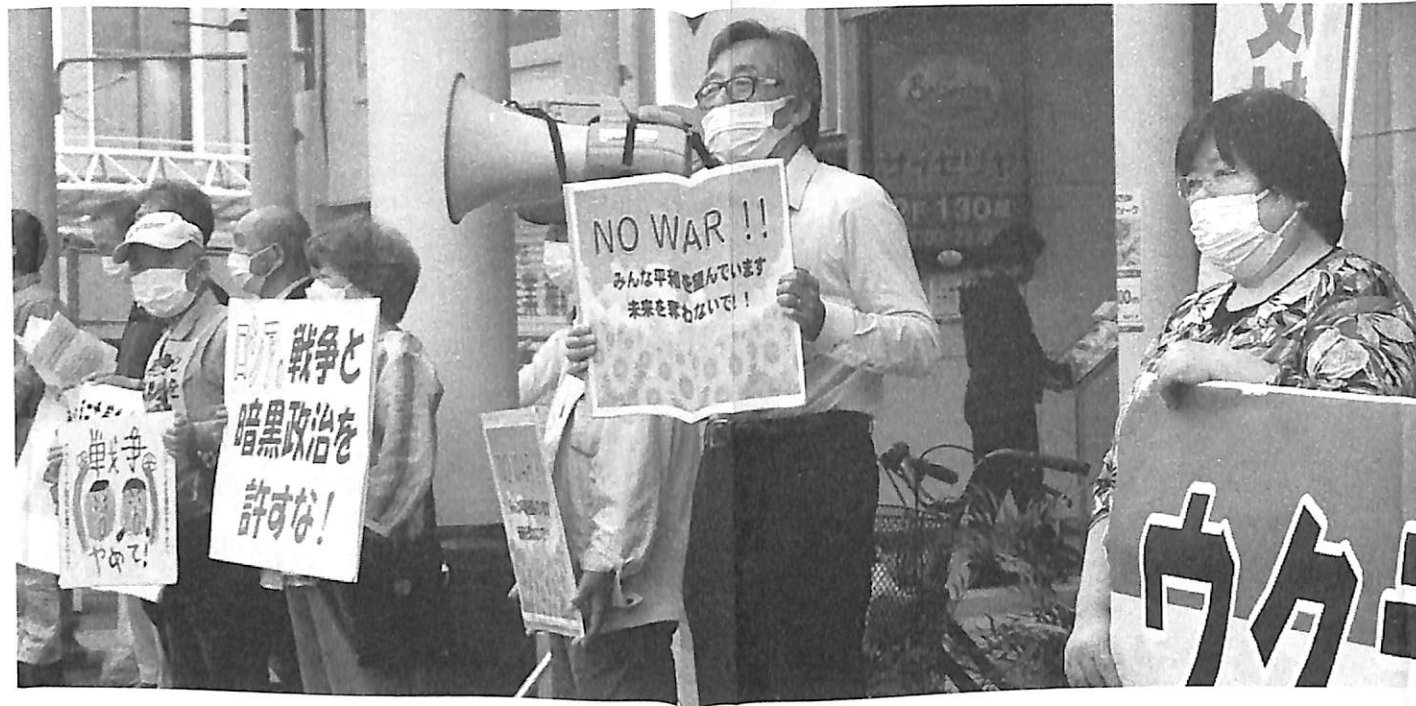
『歴史戦』とは何か
——その指しと歪曲された歴史認識—— 山田 敬男

『歴史戦』とは何か
——その指しと歪曲された歴史認識—— 山田 敬男

●『歴史戦』自公政権の悪徳の中、総選挙直前の区、
本場の姿と警告 西谷 文和

●『歴史戦』とは何か
——その指しと歪曲された歴史認識—— 山田 敬男

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 編

参議院選挙を勝利し
戦争と暗黒政治の復活を許すな！

福井県版

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

福井県本部

〒918-8203

福井市上北野2-9-15

Tel 0776-76-0836

私たちの運動の基本

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であることを認めること。
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

参議院選挙は22日公示、7月10日投票で実施されます。

今、ロシアのウクライナ侵略に乗じ、自民、公明の与党をはじめ日本維新の会や国民民主党から、軍事費の大幅増や「敵基地攻撃能力」の保有など、大軍拡を求める憲法破壊の大合唱がおこっています。そして彼らは、憲法9条を変えて、日本を戦争する国にしようとしています。

それだけに、「戦争と暗黒政治の復活を許すな」と運動している私たち同盟と協力・共同している政党と候補者の勝利のために全力をあげましょう。

ウクライナに平和を…：宣伝行動

戦争する国づくり反対！福井総がかりアクションは5月19日、JR福井駅前「ウクライナに平和を」「守ろう憲法9条」の横断幕をかかげて宣伝行動(写真・上)を行いました。

屋敷紘美代表は「軍事対軍事ではなく、平和的な話し合いで脅威を取り除くことこそ、平和をたもてる」と強調しました。日本共産党の佐藤正雄県議や立憲民主党の龍田清成副代表、鈴木孝典県労連議長などが次々とマイクを握って、自民、公明、維新などの9条改憲策動を批判しました。

この行動に同盟員も「ロシアの戦争と暗黒政治を許すな」のプラスターなどをもって市民にアピールしました。

新会長に吉田万三氏を選出…：全国大会

同盟の第40回全国大会が6月12日、13日に東京・全労連会館で開催。前大会後の諸活動の教訓を明らかにし、参院選を勝ち抜いて大軍拡・核共有など「戦争する国づくり」と改憲を阻止し、会員2万人の同盟をめざす方針を決定しました。新会長に吉田万三氏、事務局長に田中幹夫氏が選出されました。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌
『治安維持法と現代』(2022年春季号)

「歴史戦」とは何か そのねらいと歪曲された歴史認識…山田敬男
レイクエムーさようなら小三治さん、寂聴さん…沢田勝男
日本学術会議会員任命拒否から1年半…広渡清吾
国体について…前川喜平
ロシアのウクライナ侵略から思う「東京大空襲」…齊藤隆司
治安維持法で弾圧された宗教者たち…平川柳
「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯…石子順

※他多彩な執筆者の力作も 【定価1000円】注文は県本部へ

「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」を観て 伊藤千代子と大島英夫・とよ夫妻が重なる

村井 慶三

映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」を、私も上映実行委員会のみんなとともに鑑賞。暗黒政治の下で社会変革をめざして闘い犠牲となった伊藤千代子と、大島英夫・とよ夫妻の生き方が重なって目頭が熱くなった。

不平等な社会をなんとかよい社会にしたい……

伊藤千代子が社会の矛盾を感じながら成長していく姿が描かれていた。「朝から晩まで働いても、満腹に食べられない貧しい人たちが、一方では贅沢をしている人たちが……。この不平等な社会をなんとかよい社会にしたい……」と代用教員の時代から考えるようになっていた千代子。その後、東京女子大で社会科学研究会に出会い、天皇中心の政治を変えて主権在民、ジェンダー平等の社会をめざす運動に参加するようになっていく。

「戦争反対」のビラ張りで特高警察に追われる。そして、国民の闘いと要求で勝ち取った1928年2月の男子普通選挙に期待した。ところが結成されたばかりの労農党は選挙資金不足で、東京から小樽・札幌の選挙区に立候補する山本懸蔵(山懸)の立出もできていなかった。その苦境を知った千代子は、義理の親から届いた学費を山懸の旅費に提供した。この時の千代子決断を描いた場面には胸がうたれた。山懸は当選に至らなかったが京都の山本宣治など日本共産党と共同戦線を組んだ労農党が初の普通選挙で躍進した。その躍進を恐れた天皇制政府は1928年3月15日に治安維持法によって共産党とその支持者への大弾圧を行った。この三・一五事件で伊藤千代子も検挙され厳しい取り調べと、夫・浅野晃の変節に一時は精神を患う。さらに、非人間的な刑務所の扱いもあって、志半ばの1929年9月24日に生涯を閉じた。

こうした伊藤千代子の生き方は、大島英夫・とよ夫妻の人生とも似ていた。福井にいた頃は、英夫の家は福井市毛矢町、小鍛冶(旧姓)とよの家は鷹匠町(現・宝永1丁目)にあった。大島英夫は、1900年生まれ。旧制福井中学の校長の長男で旧制福井中学から金沢四高を経て東大に進学した。東京で英夫と共に活動していた金子健太が『党をきづいた人々』の中で次のように証言している。

大島英夫も三・一五事件で検挙される

「東大に入学後、当時学内の進歩的學生が組織していたマルクス主義を中心とした、社会科学の研究グループである新人会に参加したのです。」

大島同志はこの新人会でマルクス主義の理論を学び、それを実践するため労働組合運動に参加したのです。かれは、関東印刷出版労働組合の無給の書記として、ここから労働運動



映画の宣伝ポスター

の第一歩をふみだしたのです。「かれが大学を2年で中退してしまつたのも、父から送ってもらふ学費を組合の活動費に提供してしまつたので、授業料もはらえなくなったからです。しかしかれはひじょうに悪質な先天的心臓弁膜症にかかつており、いそいで道をあくることもできないような病身であつたのだから、栄養も人並み以上に取る必要があつたのです。それを自分の生活費をさいて、組合の活動を援助するなど、共産黨員となるまえから、自己犠牲にして、労働者解放のためにたたかつたのです」。ところが、三・一五弾圧事件で検挙され「拷問と獄中の不衛生と栄養不足が、彼の病気を悪化させ」「1930年7月、弾圧当局でもどうにもならないほど病気が重くなつたとき、留置処分の執行停止によつて出獄を許され、入院しました。だがこのときは、もはやすべてが手おくれとなつていて、入院後数日目三二歳の若さで、革命家としての輝かしい生涯を終わつたのです」と書いた。

私には、貧しいこどもに弁当を分け合つた千代子と、親の仕送りを困っている労働者に提供した英夫の人柄が、そっくりだったことにも感動した。

大島とよと、塩沢富美子が共同生活

映画の中では伊藤千代子を姉と慕う塩沢富美子のこと描かれている。千代子らが社会科学研究会の入会を呼びかける場面で、眼鏡をかけたひょうきんな学生が入会する。この時の学生・塩沢富美子は後に野呂栄太郎と結婚。大島とよとも深い結びつきがある。一時期大島とよと、塩沢富美子が共同生活をしていたこともある。

塩沢富美子は『野呂栄太郎とともに』の自著の中で、大島とよについて「私は大島とよ子という婦人部長に導かれ、印刷、製本工場の婦人労働者の組織のための活動に、おそろおそろ入つていった。大島とよ子は、夫とともに数年前から出版労働組合で働き、三・一五事件では夫とともに検挙され、乳呑み子を抱いて留置場に入れられた。そのショックのためか、乳が出なくなつて、赤ん坊をとうとう死なせてしまうという悲惨な体験者であつた」「私は彼女から労働者との連絡、工場内での活動と組織について多くを学んだ」と回想している。

さらに獄で千代子の隣の部屋に入れられた原菊枝は英夫と同じ出版労組で働き、英夫は原菊枝の共産党入党推薦者でもある。獄では、ロシア革命記念日に千代子と菊枝らが密かに連絡を取り合つて「赤旗の歌」を一斉にうたうシーンも印象的であつた。監視人がおろおろする中で、あつちでも、こつちでも歌う女性の中に、大島とよもいるのではないかという気がした。

命がけで社会進歩と平和のために闘つた人々が弾圧された、もうあんな時代はゴメンだ。

今を生きる私たちは、再び戦争と暗黒政治をゆるさないために治安維持法で犠牲となつた人に、国が謝罪と賠償をするまで頑張ることだ。

【註】文中に「大島とよ子」と記した箇所あります。これは『野呂栄太郎とともに』(塩沢富美子著)からの引用文のため、正しい名前は「大島とよ」です。「とよ子」と書かれた複数の出版物も見受けられます。最近では定道明氏が同人誌の『青磁』(第40号)で発表した『「死んだ赤ん坊」の写真』にも「大島とよ子」と書かれていました。多分、『県立福井高等学校卒業生名簿』が出典元ではないかと想像していますが、『解放運動無名戦士名簿』や大島家の墓のある多磨霊園管理事務所の名簿には「大島とよ」と、正しく記載されています。